

豊橋市自治連合会だより

第7号 発行部数 122,000部

発行 豊橋市自治連合会 平成26年3月27日発行
事務局 市民協働推進課内 TEL 51-2484
<http://www.toyohashijichiren.jp/>

絆・連携・協働をめざして

自治連合会会長あいさつ



豊橋市自治連合会
会長 鈴木 佳和

日ごろは、自治会活動に格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、昨年度の豊橋市自治連合会創立60周年記念事業も成功裏に終えることができました。これまでの関係各位の特段のお支えに厚くお礼申し上げますとともに、先人各位のご努力と英知に深く敬意を表します。

私たちは、これまでの『地域住民とともに築き上げてきた豊かなまちづくりの実績』をさらに積み上げていかなければなりません。自治連合会の基本理念である『自ら考え、自ら治める』を根幹に据え、さらなる自治会活動の充実と発展を目指していかねばなりません。

しかしながら今日、社会はグローバル化や情報化が急激に進む一方で、少子高齢化や核家族化が一層進むなど、大きく変化しています。こうした急激な変化は価値観の多様化や地域コミュニティの希薄化を生じさせ、自治会活動の担い手や加入率の低下を招いています。

一方、南海トラフによる三連動地震への備えが危惧されており、危機管理体制の強化や地域防災力の強化は喫緊の課題であります。また、交通安全・防犯・環境整備・道路整備など、安全・安心で住みよいまちづくりのための課題は山積みされています。

私たちは『絆』『連携』『協働』を合言葉に、皆様と共に課題の解決を目指します。皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



副会長
太田 昌利



副会長
坂神 信吉



副会長
三井 新太郎

平成25年度

定期大会開催

提言「25定期大会」を採択

平成25年6月21日豊橋市公会堂にて、本年度の定期大会が、多数のご来賓によるご臨席のもと、盛大に開催されました。



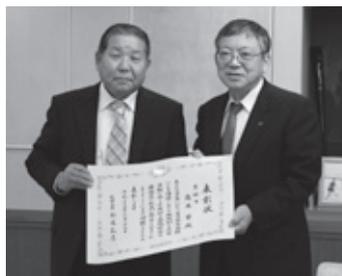
鈴木連合会会長から南海トラフ巨大地震や自治会加入率の低下など自治会の課題に触れ「主役である住民の立場に立った自治会活動の一層の充実を目指したい」とのあいさつで幕を開け、永年にわたり校区自治会長（12名）、町自治会長（64名）として活躍された方々へ表彰状が、また平成24年度で退任された校区自治会長（10名）、町自治会長（87名）へ感謝状が贈呈されました。続いて、平成24年度の事業報告と決算、平成25年度の事業計画と予算が報告されました。さらに、「ともに生き、ともにつくる」を目指すことが盛り込まれた提言「25定期大会」が確認されました。

提言「25定期大会」

- ①自治会運営の透明化の推進
- ②効果的・効率的な自治会活動の推進
- ③組織の強化と地域コミュニティの充実

高木繁前自治連合会会長総務大臣表彰を受賞

平成19年4月から平成25年3月までの6年間、豊橋市自治連合会会長を務められた高木繁氏が自治会、町内会等の代表者として多年にわたる自治会活動の功績が認められ、平成25年11月29日に総務省において「平成25年度自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰」を受賞されました。また平成25年12月18日、受賞報告のため市長を表彰訪問しました。



高木繁前会長(左)佐原市長(右)

市長からの言葉



豊橋市長 佐原 光一

地域における自治会の皆様方のご尽力に対し心から敬意を表します。

本市では、防災・減災の推進や多様な個性を持つ子どもたちの人づくり教育など、まちの将来を見据えた様々な取り組みにより、希望と誇りを持てるまちづくりの推進に努めているところです。

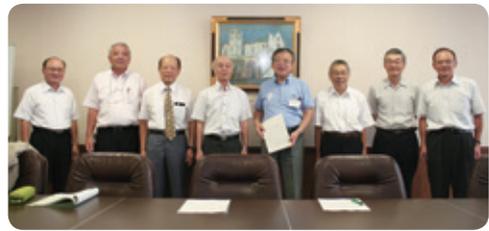
しかし、行政だけでは明るく住みよいまちづくりは実現することはできません。自治会を中心として行われております防災・防犯・環境美化・子どもたちやお年寄りの見守りなどの活動やコミュニケーションの役割が重要なものとなっております。さらに、地域の力を結集していただき、こうした様々な活動に取り組んでいただくことは、本市が目指す「輝き支えあう水と緑のまち・豊橋」へと繋がるものであると確信しています。

さて、今年には豊橋まつりが記念すべき第60回を迎えます。自治連合会からは毎年豊橋まつりクイーンの出立や総おどりへの参加など多くのご協力をいただいています。節目となる本年は例年以上に市民総出で豊橋まつりを盛り上げ、新たなまち文化を創造したいと考えています。自治連合会の皆様方にはさらなるご支援、ご協力をお願いいたします。

市長へ要望書提出

平成25年9月25日に、自治連合会は次の4項目について、市へ要望書を提出しました。

- ①災害対策の充実について
- ②通学路の安全対策について
- ③ゴミ問題について
- ④消防団について



佐原市長へ要望書を手渡ししました

豊橋市議会との意見交換会

平成25年11月12日、自治連合会と市議会との、初めての意見交換会が、開催されました。

今後とも安全・安心、住みよいまちづくりのために、市民の皆様の声や、市政に伝えていきたいと考えています。



市議へ質問をする自治連合会理事

視察記

理事管外視察

●所沢市

5月に理事による管外視察を行いました。また8月には完成した種の国とよはし芸術劇場「プラット」を視察してきました。

所沢市の自治会は、11の行政区で運営されています。首都圏のベッドタウンで合併により街が大きくなりました。人口は34万3千人。豊橋は38万人と3万7千人多いが世帯数はほぼ同じです。面積は豊橋の3分の1で、人口密度の差は大きくなっています。所沢市をバスで通行して見た限りではきれいに整備されていて、豊橋の方が自然や田畑が多いと感じました。

自治会への加入率は65・4%で豊橋のほうが70・9%と少し高くなっています。

所沢市は、加入率を上げる取り組みとして転入時に活動内容付の『自治会加入申込書』を手渡したり、マンション建設時にオーナーに加入のお願いに行ったりしています。また、加入促進マニュアルを作成して加入率80%を目標にしているそうです。

イメージマスコットの『トコロん』は可愛らしく、あちこちに出ています。

地域の底力支援事業・事例集を毎年発行して、町内会の活動を紹介しています。その中にも載っていた東住吉町内会長の鈴木由紀子さんの話を聞くことができました。パワー溢れる方で、平成16年に「花の会」を設立。苗の植え替え、手入れ



所沢市東住吉町内会長のおはなし

は小中学生をまき込んで行うそうです。その作業によりコミュニケーションが生まれ、近隣の方々も道路清掃に参加して下さり、景観も美化され、一つの活動から多くの活動へと広がっていくとの事でした。ほかの役員の方が、「魅力ある自治会とは常に動いている自治会である」の言葉は心に残りました。

所沢市自治会様の対応は、丁寧で明るく、とても爽り多い研修でした。

●東京臨海広域防災公園

とにかく広い敷地に建物はありません。公園のように見える空間も、いざという時には避難所になるように工夫されているそうです。

施設内に入ると、天井が高く明るいと感じました。

ビデオを見てから被災シミュレーションを体験しました。

内容は「東京直下72h、T O U R」マグニチュード7.3、最大震度6強の首都直下地震の発生から避難までをニンテンドーDSを使ったクイズに答えながら、生き抜く知恵を学ぶものです。



被災から72時間の生き抜く術を勉強します



所沢市自治連合会への加入率についての質問

豊橋まつり 華やかに彩るクイーン

「すべての市民が共有できる祭りを」という思いから生まれた「豊橋まつり」も今年で59回目となりました。今年のクイーンも校区の代表として素晴らしい活躍をしました。



市民総おどり(駅前大通り)



オープニングダンス(豊橋球場)



雨の中のパレカ(広小路)



理事とクイーンの記念撮影(公会堂)

■オープニングで校区のアピールも

初日の豊橋球場でのオープニングセレモニーは、三菱レイヨン㈱豊橋事業所提供の光沢のあるブルーの衣装でさっそうと登場したクイーン。自己紹介の中では校区の特徴もしっかりアピールしてくれました。

■若さ溢れるおどりとダンスでまつりを盛り上げ

2日目のパレカは雨にもめげずクイーン全員の思いで参加しました。広小路でのダンスは雨にもかかわらず多くの観客を集め、まつりを盛り上げました。9月から、毎週日曜日にダンス練習をしてきた成果が十分発揮されました。

■クイーンの活躍に自治会活動に充実感

まつりの打ち上げパーティーでは、佐原市長・鈴木自治連合会長からねぎらいの言葉をもらいクイーンも感激していました。クイーンの選考には苦勞がありました。クイーンになって良かった」というクイーンの話に自治会活動に意義と充実感を感じることができた今年の豊橋まつりでした。

■プラット視察記

穂の国とよはし芸術劇場プラットは、豊橋市が東三河市民のための演劇・舞踊・音楽等の芸術文化の振興と市民の交流を図るため、芸術文化施設として平成25年4月に開館しました。主ホールは出演者の熱気や緊張感、生の台詞が客席に自然に伝わることに配慮した劇場です。

主ホールの「奈落」と呼ばれる舞台下まで案内され、舞台が固定式でなく歌舞伎、オーケストラ演奏など、用途に応じて舞台設定ができるように工夫されていること、また、緞帳や各種幕などが秒単位で上げ下げ出来る様になっていることなど、最新の技術が各所に取り入れられていることに驚かされるばかりでした。

その他にも、演劇、ダンス、音楽の練習や発表などが可能な創造活動教室や、展示や会議が可能な研修室も視察しました。

この芸術劇場プラットが、市民に愛され、地域社会の文化芸術活動の拠点となることを願っています。



主ホールの舞台下

成果のあった 津田校区 防災訓練



訓練参加者受付

津田校区では、9月22日に地震で避難してきた人たちのための避難所開設を主な目的として、訓練をしました。当日は校区内から大勢の参加者があり、大変成果のあった訓練となりました。

避難所に避難してくる人は、健康な人ばかりではありません。持病を抱えた方、お年寄り、赤ん坊、妊婦さん等、様々な人が避難してきます。それぞれの方が窮屈な中でも、ストレスを抱えないように避難生活ができるよう工夫したり、仕分けをしたりする訓練が行われました。

避難してきた皆さんには、小学校の体育館で、ダンボールによる間仕切り訓練をしていただきました。およそ四畳半の空間が10個できる段ボールのセットで作りました。その後、この空間の中でどんな生活ができるか実感してもらいました。

参加された皆さんは、避難所生活がプライバシー等のあることもあり、いかに大変なのか体験できたのではないかと思います。



ダンボールの生活はどんな感じかな？



二川宿本陣まつり

第23回二川宿本陣まつりが、11月10日(日)に開催されました。江戸時代の吉田藩主の名君・松平伊豆守信明の参勤交代をモデルにし再現した大名行列をメインに各種イベントにより二川の町は大賑わいになる予想でした。

今年、豊川のB-1グランプリと日程が重なるため、事前に特別チラシを作りPR活動に力を入れました。静岡での「とびつきりあさひテレビ祭り」出演、ラグーナ蒲郡のステージPR等、雅姫・琴姫が率先して協力してくれました。

迎えた当日の朝の天気予報。午後の二川には雨雲がすっぽりと覆っているではありませんか!! ショック! 大名行列は二川小学校の体育館内で行うことになりました。ところが、何とかと秋の空...と言われているとおり意地悪にも午前前から降り出した雨は12時の出発式には止み、太陽がのぞき大名行列日和に! 急ぎよ、外での行列を考えましたが、衣装は室内用になっていたため断念しました。

今や、本陣まつりは、1中学校・3小学校の協力なしにはできません。もちろん地元の方の協力は必須です。出演者・スタッフ合わせて千人からの大イベント。二川には無くてはならぬ行事になりました。

平成26年11月9日(日)には第24回本陣まつりが予定されています。

今年こそ秋晴れのもと、素敵な衣装でみなさまをお待ち申しあげます。



二川本陣まつり

平成25年度 豊橋市自治連合会 事業報告

重点推進事項

- 一 明日の豊かなまちづくり
 - ◇市民館を拠点に地域のコミュニティ活動の実施など
- 二 安全で明るい市民生活を築くまちづくり
 - ◇街頭立ち番の実施による交通安全市民運動や防犯活動の推進など
- 三 青少年が健康で明るく育つまちづくり
 - ◇パトロールの実施、非行防止活動など
- 四 地震等災害から市民を守るまちづくり
 - ◇危機管理体制の強化
 - ◇自主防災会の充実と防災意識の高揚など(総合防災訓練への参加など)
- 五 美しく住みよい緑のまちづくり
 - ◇530運動や愛市憲章の実践と啓発など
- 六 快適な暮らしを目指すまちづくり
 - ◇資源、エネルギーを大切にするための自主的な活動の推進など

一般推進事項

- 一 受託業務の実施
 - ◇「広報とよはし」配付など市の業務について業務委託契約を締結
- 二 豊橋まつりへの参加
 - ◇自治会よりクイーンを選出し、イベントなどへ参加
- 三 共同募金、歳末たすけあい運動などへの協力
- 四 地域で献血運動への協力など

特別推進事項

- 一 自治会活動の充実と活性化の促進
- 二 市民協働によるまちづくりの推進

★自治会加入の促進を!★

「豊橋市の自治会加入状況について」

現在の自治会加入世帯数は総世帯に対して70.9%の割合となっています。

「自治会とは」

地域の安心・安全な街づくりと「住みよいまち豊橋」の実現を目指して、地域の様々な課題解決に取り組み、地域と行政のパイプ役を務める団体です。

「大切です、ご近所つきあい」

地域で起きる課題は個人や家庭だけで解決することが困難なものがたくさんあります。ご近所同士で力を合わせ、様々な活動や取り組みを通じて課題の解決を行うことで、自治会会員同士の親睦も深まり、暮らしへの安心感も高まります。日頃からの絆づくりが災害等の非常時に大きな力が発揮されます。また、様々な取り組みを行うことにより、地域の中で自然にルールやマナーが育まれ、きれいな街づくりや防犯・防災の街づくりが進んでいきます。

「自治会加入の促進を」

地域の絆づくり、防災、減災の観点からも自治会加入世帯を増やしていく必要があります。自治会に加入してよいことがたくさんあります。是非ともご加入を!

編集後記

自治連合会も市民の皆様を支えられ、61年を迎えました。これからも「自治連合会だより」を通じて、活動を知っていただき、安全・安心、防災・防犯に強い、明るく楽しい住みよい街づくりに努めていきたいと思います。

【編集委員】

三井 新太郎、笹野 壽
村田 勇一郎、梅岡 愛子
高井 鉄伸